

eラーニング研修「最終レポート」

教科・領域	理科
授業タイトル・単元名等	もののとけかた
対象学年	5年生児童
実施場所	理科室
授業内容	物の溶け方の規則性を調べ、定量的に記録する 授業のねらい物が水の溶ける量には限界があることを理解する 水の量や温度、溶ける物によって量が違うことを理解する
全体指導	授業の流れ 復習・・・溶けた物はどうなったのだろうか？ 溶けて見えなくなっても、水溶液の中にある。(全体の重さが変わらない)
個人活動	本時の課題 <u>ものが水に溶ける量に限りがあるのか？</u> 食塩・ミョウバンを50mlの水にさじですりきり1ぱいずつ入れてよくかき混ぜ 溶かす。 正確に計るために、メスシリンダーの使い方・読み方を知る。
班活動	クラス全体が見ることが出来るように、カメラで拡大し、大型スクリーンに投影する。 見方、手順をモニターで説明指導をする。 食塩・ミョウバンの溶ける量を予想する。 個々で予想し全体の場で発表する。 発表後、班ごとに実験を開始する。
個人活動	班での発表 塩は5～10杯程度溶けるが、ミョウバンは1杯程度しか溶けない。 物が水に溶ける量には限りがある。
班活動	<u>物をもっとたくさん溶かすにはどうすればいいか？</u> 水を増やす。 班での実験 班での発表 50mlから100mlにすると、約2倍溶けた。 その他に方法はないかな？ 水の温度を上げる 実験をする 塩の溶ける量は変わらない ミョウバンは温度が上がると溶ける量は増える
活用するICTメディア	大型モニター・カメラ(拡大機)・プロジェクター
活用するコンテンツ	yahoo きっず「動画で楽しむ理科」